# 編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

| 受理番号 | 学　校 | 教　科 | 種　目 | 学　年 |
|---|---|---|---|---|
| 31-3 | 中学校 | 音楽科 | 音楽（一般） | 第１学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教　科　書　名 | | |
| 17 教出 | 音楽 701 | 中学音楽 1　音楽のおくりもの | | |

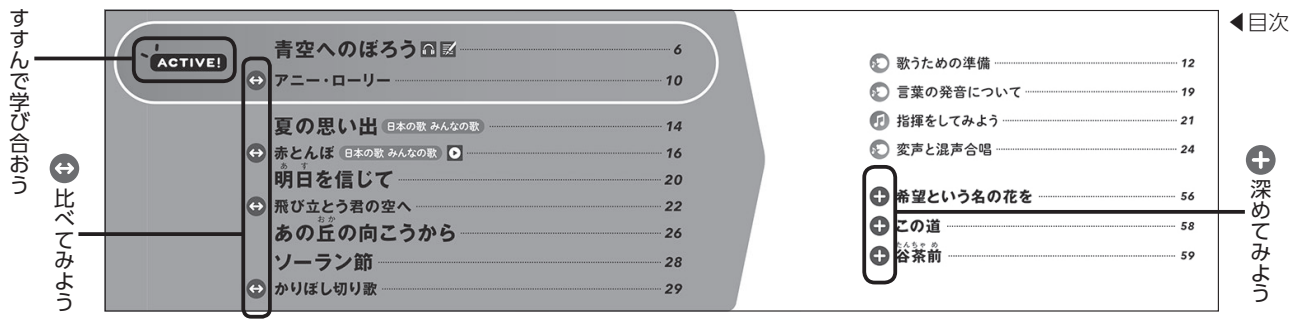
## 1．編修の基本方針

教育基本法及び学校教育法の内容に則り学校教育全体の目的を踏まえ，教育課題に対応した中学校音楽科の学びの具現化をめざし，以下の観点を基本方針として本教科書を編修しました。

### ●音楽科の深い学びの実現をめざして

本教科書は，表現「うたう」「つくる」と鑑賞「きく」の学習のバランスに配慮しました。また，音楽的な見方・考え方を働かせ「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力等」を身に付けながら主体的に学ぶことと，表現を工夫したり聴き取ったりしたことを話し合うなど協働的に学ぶことを重視しました。その具体的な学習活動例として，表現及び鑑賞の冒頭に ACTIVE!「すすんで学び合おう」ページを配置しています。

▲目次




◀目次

そして，ACTIVE! すすんで学び合おうを含めた「主要教材」による主体的・協働的な学びに加え，**比べてみよう**では主要教材で学んだ「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力等」を生かすことで，より確かな学びとなるように教材を設定しました。**深めてみよう**ではさらに必要に応じて，主要教材や比べてみようの学びが深められるように教材を設定しました。

## ●音楽科の学びを支えるカリキュラム「学びのユニット」

本教科書は，生徒の興味を喚起し関心を高めるとともに，主体的に協働的に学ぶことができるように教材の配列を工夫し関連を図りました。

うたう

つくる

きく

▲p.4-5

### 「学びのユニット」例

**うたう**

**主要教材「青空へのぼろう」** p.6

比べてみよう
「アニー・ローリー」p.10

深めてみよう
「希望という名の花を」p.56

**Let's Sing!**
「歌うための準備」p.12

▶p.12

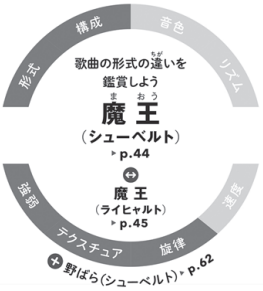
**つくる**

**主要教材　全体の構成を考えながら音楽をつくろう** p.34

**Let's Try!**
全体の構成を理解して表現を楽しもう「くいしんぼうのラップ」p.36

▲p.34

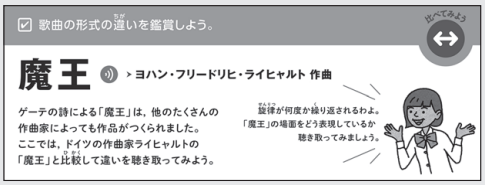
**きく**




**主要教材 「魔王」(シューベルト)** p.44

比べてみよう
「魔王」(ライヒャルト) p.45

深めてみよう
「野ばら」(シューベルト) p.62

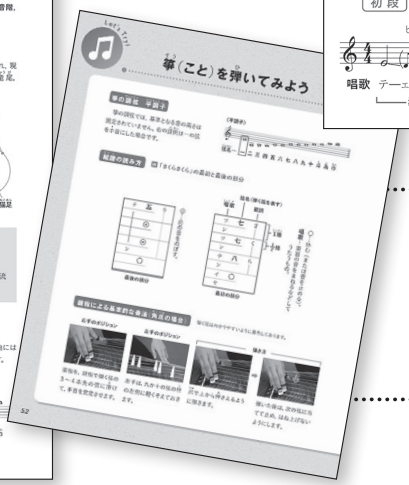



▲p.45

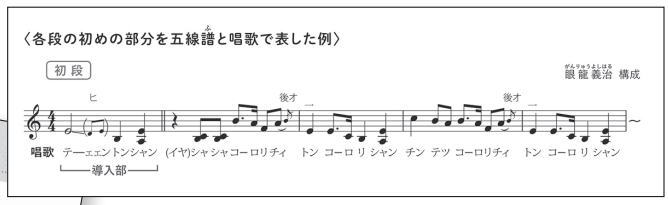
## ●音楽文化の理解を深めるために

本教科書は，我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい愛着をもつことができるように，表現と鑑賞の活動を関連づけて編修しました。また，音楽の歴史的・文化的な背景，生活や社会における音楽の働きや役割についても音楽活動をとおして理解できるように配慮しました。

▲p.48




▲p.52




▲p.49

●箏曲「六段の調」の鑑賞の学びから，唱歌で表現したり箏（こと）を弾いたりする活動と関連させることで，我が国の伝統音楽に愛着をもつことができるように配慮しています。

●我が国の箏と中国や朝鮮半島に伝わる「こと」と比較し，アジア地域の音楽文化を尊重する態度を養うことをめざしています。

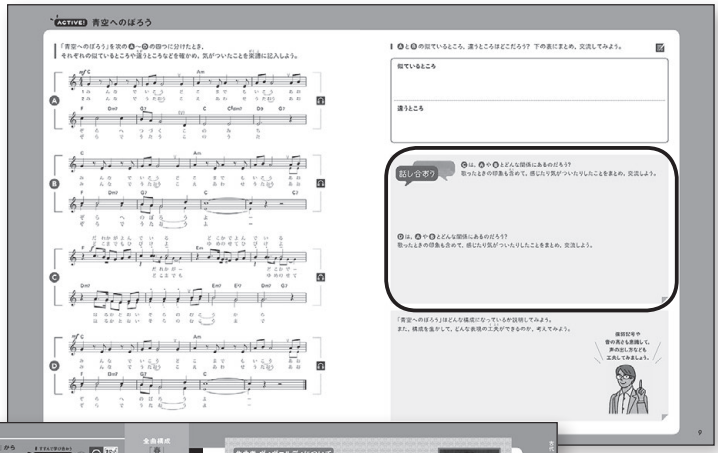
▶p.63

## ●音楽に対する価値意識をもつために

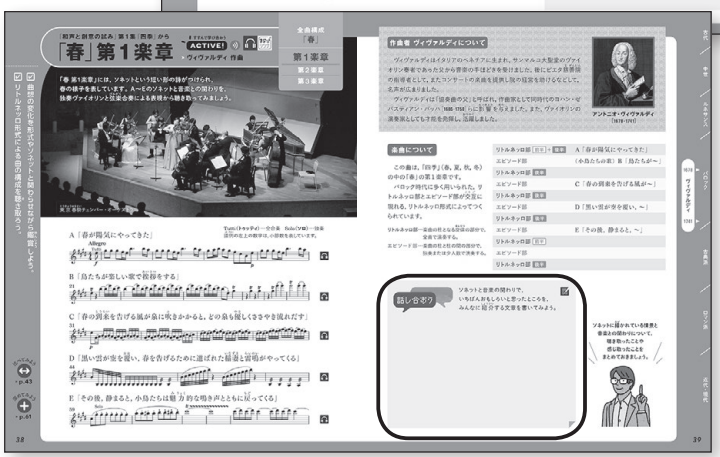
本教科書は，言語活動の充実を図る学習活動とともに，他者と協働し対話的な活動が展開できるように編修しました。そして，音楽的な見方・考え方を働かせ，曲想と音楽の構造との関わりを学ぶことを基盤としています。

### ●他者と協働し対話的な活動による学びの推進

話し合おう 「話し合おう」では，自分の考え方や見方，感じ取った曲想，曲想と音楽の構造との関わりなどをまとめ，交流できるように紙面を構成しました。




▲p.8-9




◀p.38-39

## 2．対照表

教育基本法第二条の第１号から第５号との対応を示します。

〈第１号〉幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。

〈第２号〉個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第３号〉正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第４号〉生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第５号〉伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

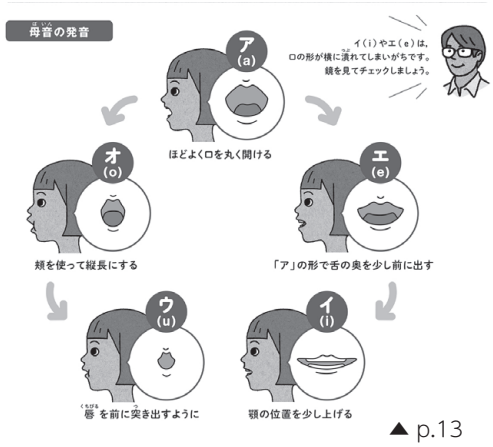
**第１学年**

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|---|
| ○音楽の構造や旋律のまとまり，音のつながり方などを理解し，表現の技能を身に付けながら展開する音楽活動 | 音楽に関する幅広い知識と技能を身に付け，豊かな情操を養うことをめざしています。(第1号)<br>・音楽の構造や旋律のまとまりをとらえ，音楽全体の構成を理解して学習できるように「主要教材」での学びを基盤にして，「⇔比べてみよう」「＋深めてみよう」と学びが深まるように配慮しています。<br>・曲想と音楽の構造との関わりを考え，創意工夫するための表現の技能が身に付けられるように配慮しました。 | 〈例〉<br>・青空へのぼろう<br>・アニー・ローリー<br>・希望という名の花を<br>・全体の構成を考えながら音楽をつくろう<br>・全体の構成を理解して表現を楽しもう |
| ○音楽の構造や背景を理解し，学んだことを生かして音楽に対する価値意識を考え交流するための教材を設定 | 音や音楽に対する個人の価値意識を尊重して，その能力を伸ばし創造性を養うことをめざしています。(第2号)<br>・音楽的な見方・考え方を働かせ，音楽に対する価値意識を考え言語活動を充実させるように配慮しました。 | 〈例〉<br>・「魔王」(シューベルト)<br>・「魔王」(ライヒャルト)<br>・「野ばら」(シューベルト) |
| ○合わせて歌う音楽活動を通して，主体的で協働的な学びを展開する教材を設定 | 音楽活動を通して自他の敬愛と協力を重んじ，尊重する態度を養うことをめざしています。(第3号)<br>・音楽に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら，自ら歌唱表現を工夫することや他者と交流しながら小集団や学級としての表現をつくることができるように配慮しました。 | 〈例〉<br>・明日を信じて<br>・飛び立とう君の空へ<br>・指揮をしてみよう<br>・変声と混声合唱 |

| | | |
|---|---|---|
| ○音楽の構造を生かし，我が国の自然や歌詞にこめられた作詞者の思いを豊かに表現するための教材を設定 | 音楽で表現される生命の尊さや自然の大切さを理解し，尊重する態度を養うことをめざしています。(第4号)<br>・歌詞の背景となる我が国の美しい情景や歌詞に込められた思いなどを理解し，音楽の構造を生かしながら表現することができるように配慮しました。 | 〈例〉<br>・夏の思い出<br>・赤とんぼ<br>・この道<br>・言葉の発音について |
| ○我が国の音楽文化への理解を深め，我が国と他国との音楽文化の関連を理解し尊重する教材を設定 | 我が国や郷土の音楽文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国の音楽文化を尊重する態度を養うことをめざしています。(第5号)<br>・我が国や郷土の音楽文化の理解と尊重を基盤にして，さまざまな音楽文化における表現の共通性や固有性に気づき，その多様性を理解することができるように配慮しました。 | 〈例〉<br>・六段の調<br>・鹿の遠音<br>・日本とアジアをつなぐ音<br>・箏(こと)を弾いてみよう |

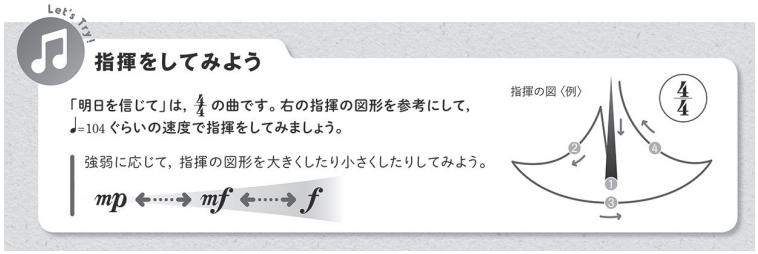
## 3．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ●Let’s Sing! や Let’s Try! では表現するための技能をわかりやすく提示




▲ p.13

表現するための技能をイラストや図を使って
わかりやすく説明しています




▲ p.21

### ●学びを支えるWEBリンク

…**見る**　音楽表現を視聴し確認できるようしました

…**聴く**　音楽表現を聴取し学びに生かせるようにしました

…**記録する**　学習で使うワークシートを用意しました

### ●その他の特色

**①ユニバーサルデザインへの配慮**

色覚などの特性をふまえた，判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト，表現方法，文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により，すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

**②地球となかよし**

教科書の印刷には，環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し，地球環境への負荷軽減に配慮しています。

# 編　修　趣　意　書

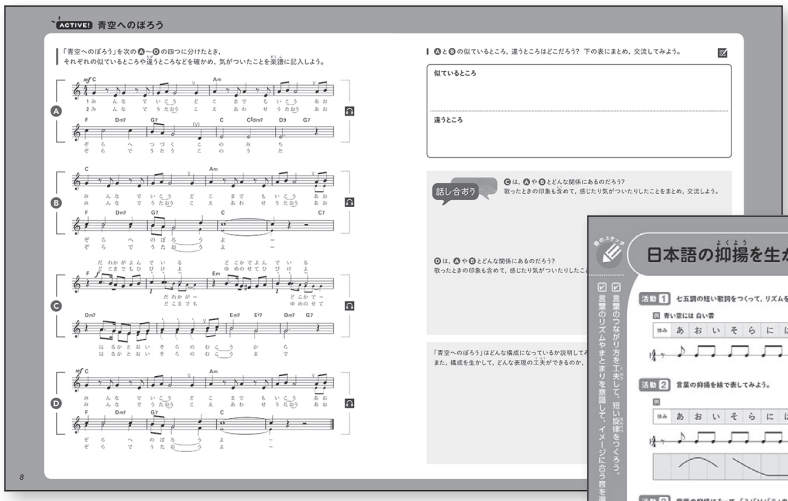
（学習指導要領との対照表）

| 受理番号 | 学　校 | 教　科 | 種　目 | 学　年 |
|---|---|---|---|---|
| 31-3 | 中学校 | 音楽科 | 音楽（一般） | 第１学年 |
| 発行者の<br>番号・略称 | 教科書の<br>記号・番号 | 教　科　書　名 | | |
| 17 教出 | 音楽 701 | 中学音楽 1　音楽のおくりもの | | |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

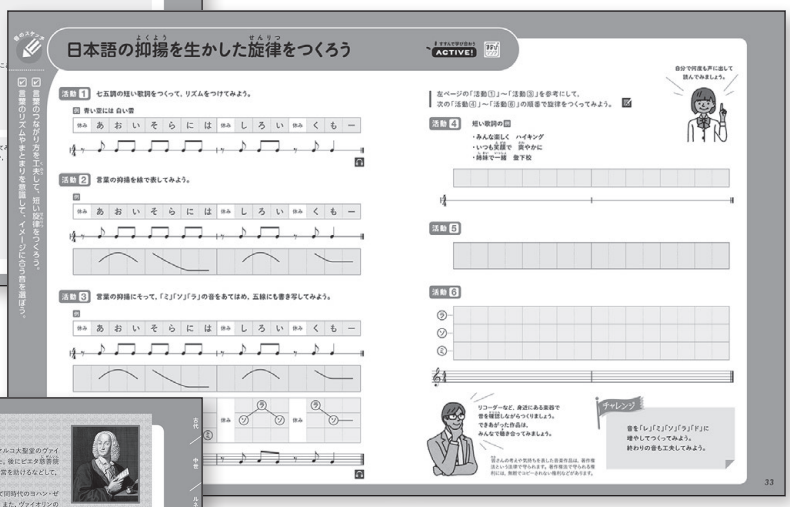
### ●音楽活動の展開を具体的に示す紙面

主体的･対話的で深い学びの実現に向け，進んで学び合う活動が展開できるように紙面を工夫しています。



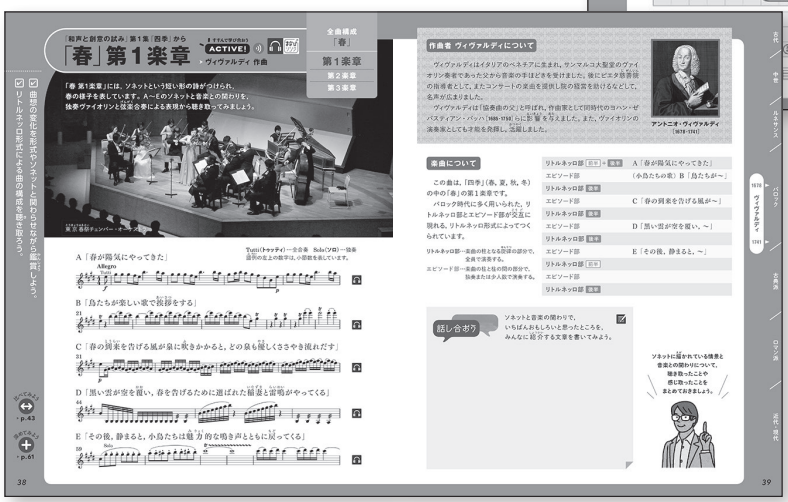

▲ p.8-9

音楽の構造を理解し表現を工夫する歌唱のページ




▲ p.32-33

協働的な活動を取り入れた創作のページ

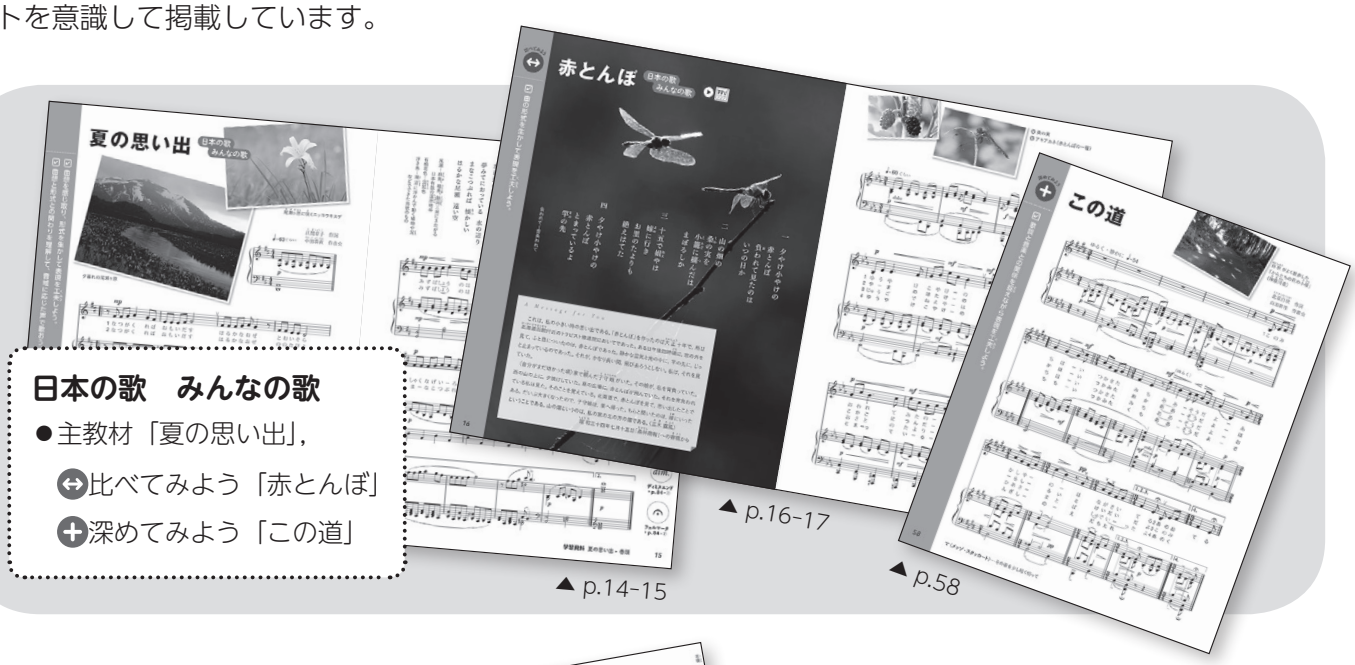



▲ p.38-39

対話的な活動が生きる鑑賞のページ

## ●我が国や郷土の音楽文化の理解を深める

歌唱共通教材やこれまで我が国の伝統音楽として親しまれてきた教材を，カリキュラム・マネジメントを意識して掲載しています。




**日本の歌　みんなの歌**

- 主教材「夏の思い出」，
  - ⇔比べてみよう「赤とんぼ」
  - ＋深めてみよう「この道」

▲ p.14-15　▲ p.16-17　▲ p.58

▶ p.48-49　◀ p.50-51　▲ p.52-53

**箏や尺八の音楽**

- 主教材 箏曲「六段の調」
  - ⇔比べてみよう 尺八曲「鹿の遠音」
  - Let's Try! 箏（こと）を弾いてみよう「さくらさくら」

**アジアの声によるさまざまな表現**

- 天台声明，八木節，江差追分
- ケチャ，ホーミー，
  布農〈ブヌン〉族の合唱

▲ p.54-55

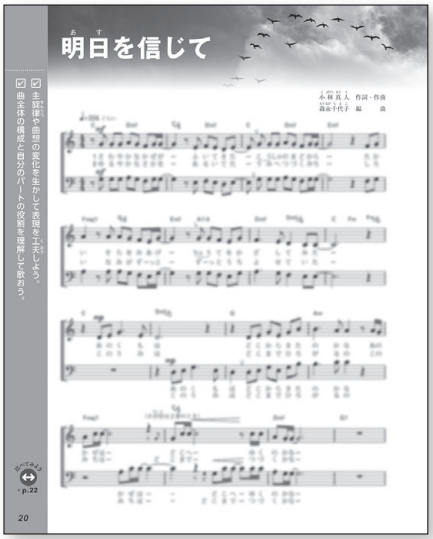
## ●学習内容を明らかにした教材の配列と関連

各教材の「学びのポイント」は学習内容を明確にするとともに，教材の関連を図るヒントとして学びの関連を図ることをめざしました。

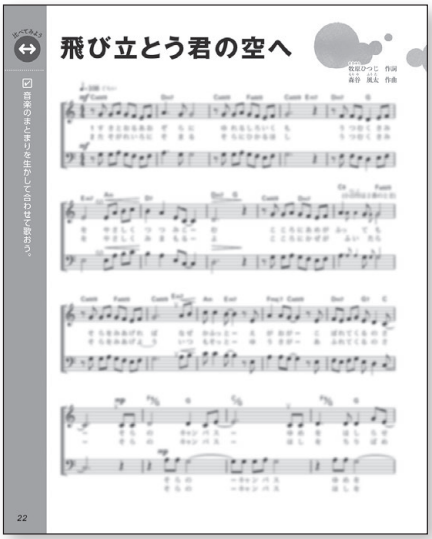
- ●曲全体の構成と自分のパートの役割を理解して歌おう。
- ●主旋律や曲想の変化を生かして表現を工夫しよう。

音楽のまとまりを生かして合わせて歌おう。

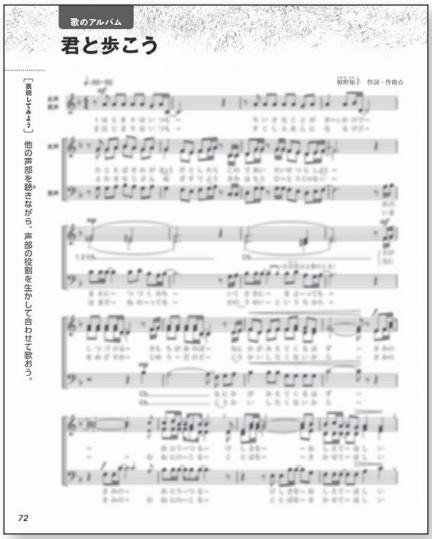
他の声部を聴きながら，声部の役割を生かして合わせて歌おう。




▲ p.20




▲ p.22




▲ p.72

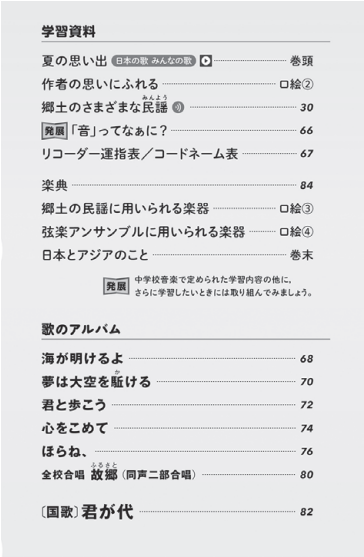
## ●音楽の共通性や固有性，音楽の特徴の理解

これまでの学びを生かして，さまざまな音楽について共通性や固有性を考え，特徴を理解することができるように書き込み欄を設けたり，「話し合おう」を設定したりしました。こうした学習活動は，生徒の思考力・判断力・表現力等をはぐくむことが期待されます。

▶ p.60

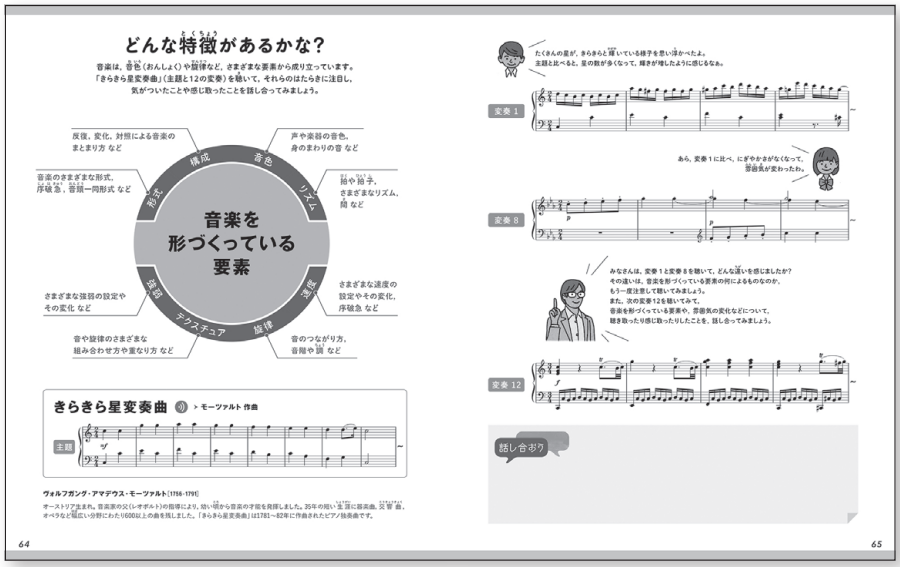
## ●その他の特徴

「学習資料」「歌のアルバム」
**〈さまざまな音楽文化の取り扱い〉**



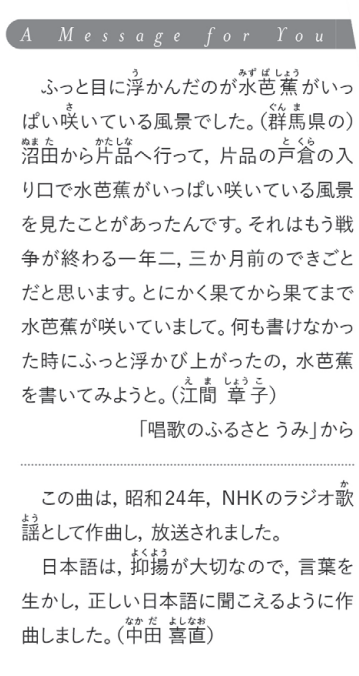

▲目次

「どんな特徴があるかな？」
**〈音楽的な見方・考え方を生かして〉**




▲ p.64-65

巻頭口絵「A message for You」
**〈音楽を愛好する心情をはぐくむ〉**



▲ 巻頭口絵

### この他に〈音楽に親しみ尊重する態度の育成をめざし〉

- ●口絵②「作者の思いにふれる」―ちょっと待っていて。もうすぐ書き終える。―
- ●郷土のさまざまな民謡 ▶p.30-31
- ●表現の楽しさ高まりをめざす 「故郷」（同声二部合唱）▶p.80
- ●わかりやすい「楽典」のページ ▶p.84-84-②
- ●口絵③「民謡に用いられる楽器」口絵④「弦楽アンサンブルに用いられる楽器」「日本とアジアのこと」

# 2．対照表

| 教材（◎…鑑賞教材） | A表現 | | | | | | | | | | | | | | B鑑賞 | | | | | | 共通事項 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | （1）歌唱 | | | | | （2）器楽 | | | | | （3）創作 | | | | （1）鑑賞 | | | | | | （1） | |
| | ア | イ | | ウ | | ア | イ | | ウ | | ア | イ | | ウ | ア | | | イ | | | ア | イ |
| | | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | | (ア) | (イ) | | (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ウ) | | |
| | 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり | 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 | 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 | 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。 | 曲想と音楽の構造との関わり | 楽器の音色や響きと奏法との関わり | 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 | 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 | 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。 | 音のつながり方の特徴 | 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 | 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。 | 曲や演奏に対する評価とその根拠 | 生活や社会における音楽の意味や役割 | 音楽表現の共通性や固有性 | 曲想と音楽の構造との関わり | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり | 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 | 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。 |
| 青空へのぼろう | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| アニー・ローリー | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 夏の思い出 | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 赤とんぼ | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 明日を信じて | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 飛び立とう君の空へ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| あの丘の向こうから | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| ソーラン節 | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| かりぼし切り歌 | ○ | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう | | | | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | ○ | ○ |
| 全体の構成を考えながら音楽をつくろう | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ |
| ◎「春」第１楽章 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| ◎「秋」第１楽章 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| ◎魔王（シューベルト） | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ◎魔王（ライヒャルト） | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ◎箏曲「六段の調」 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| ◎尺八曲「鹿の遠音」 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| ◎日本とアジアの声によるさまざまな表現 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ |
| 歌うための準備 | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 言葉の発音について | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 指揮をしてみよう | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 変声と混声合唱 | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 希望という名の花を | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| この道 | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 谷茶前 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 全体の構成を理解して表現を楽しもう | | | | | | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | ○ |
| 箏（こと）を弾いてみよう | | | | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| 何が同じで，何が違う？ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ◎弦楽合奏のセレナード第１楽章 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| ◎野ばら | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ◎日本とアジアをつなぐ音 | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| ◎どんな特徴があるかな？きらきら星変奏曲 | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ |
| ◎郷土のさまざまな民謡 | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 海が明けるよ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 夢は大空を駈ける | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 君と歩こう | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| ほらね、 | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 心をこめて | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 故郷（同声二部合唱） | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |
| 君が代 | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ |

# 編　修　趣　意　書

（発展的な学習内容の記述）

| 受理番号 | 学　校 | 教　科 | 種　目 | 学　年 |
|---|---|---|---|---|
| 31-3 | 中学校 | 音楽科 | 音楽（一般） | 第 1 学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教　科　書　名 | | |
| 17 教出 | 音楽 701 | 中学音楽 1　音楽のおくりもの | | |

| ページ | 記　　述 | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項 | ページ数 |
|---|---|---|---|---|
| 66 | 「音」ってなぁに？ | 2 | ○内容の取扱い　2-（1）-ア<br>**各学年の「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導**<br>（上記の項目では自然音や環境音について記されているが，本コーナーでは音の物理的な性質についてその原理を解説した。） | 1 |
| | | | 合　　計 | 1 |

（「類型」欄の分類について）

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容